

 **学校だより 本荘**
2023 **Smile**

令和5年度 第20号
令和5年8月22日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

夏休みの出来事より① 「できることを楽しく」のPTA活動。これがいいのです!(^^)!



この夏休み、本荘小ではPTA活動を行っております。もちろん希望者だけだったのですが、参加した子どもたちの様子をスナップで見ていただくと一目瞭然です(笑)楽しいイベントが行われました。それは、本荘小陸上教室です。

PTA副会長の志柿さん(志柿城彩さんのお父さん)が子どもたちに陸上競技、走る楽しさをレクチャーしてくださっています。夏の暑い中なので、朝8時から10時までで実施しました。

実を言いますと、子どもの頃の校長先生は、走るのが好きではありませんでした。何というのでしょうか、走る楽しさと出会えていなかったようです。

当時は、体育の授業にしる、部活動の練習にしる、走るときは徹底的に走らされていました。自分は、バレー部なのになんでこんなに走らないといけないのだろう?頭の中には、常にそんな疑問を感じながら練習をさせられていました。「バスケやサッカーならわかるんだよなあ。試合中、走る場面があるから。バレーはあんまりないのになあ」と、ぼんやり考える子どもだったので、さぼることもできずに、ただ、走ることが嫌いになったということでしょう。当時は、水も飲んではいけななど、今思うと疑問を感じる練習ばかりでしたから。

でも、本荘小の陸上教室は違うのです。志柿さんの指導が素晴らしいのです。走る楽しさというよりも、体を動かすことの楽しさをまず、感じさせてくださいます。(決して水鉄砲で遊んでいるからの笑顔ではありません 笑)※裏面に続きます。

この写真を見てもお分かりかと思いますが、両手、両足を使ったステップの運動です。これ一つするのも楽しそうなのです。

子どもは本能的に、体を動かす楽しさを知っているのです。じっとしておく方が苦手なはずですよ。



だから、楽しいのです。この動きだって、2、3セットやれば汗は噴き出してきますし、すぐに呼吸も乱れるはずですよ。それでも、その後の子どもたちは、次の写真のようにじっとしていません(笑)

一応、夏休み期間中の予定は終わりましたが、楽しいイベントだったと思います。

加えて、これが、「コロナ禍」を経た、新しい時代のPTA活動の在り方ではないかなと考えています。今までと同じことや、よその学校と同じことをしなくてもよいのでは?と思うのです。

本荘小にとって必要なことで、かかわる人たちが無理をしないで、楽しくやれるものを提案していくことが大事なのではないでしょうか。(高校の時の文化祭のようにみんなが楽しめるイベントがお手本と考えています。)

このイベントには、毎回渡邊PTA会長さんや保護者の方々も参加しておられました。そして、子どもたちと一緒に体を動かしておられました。(校長も少しだけ (*~)v)

そんな楽しい雰囲気での活動がこれからの学校には必要だと思います。もうすぐ夏休みは終わりますが、こういったイベントは夏休みのよい思い出に、大人になっても忘れない思い出になるのではないのでしょうか。参加された皆様、ありがとうございました。(校長)

校長先生の虫眼鏡 「たまには縦方向の写真もいかがかと」



いつもと趣向を変えて縦方向のスナップを集めてみました。

いつもと違う表情にも見えるので、面白いものですね。

最後の1枚は、なかなか雰囲気があります。